

# 中心児報

発行日：2017（平成29）年11月22日

発行：社会福祉法人 中心会

児童養護施設 中心子どもの家

相模原市中央区田名10125

TEL：042-764-7046

URL <http://kodomo.chusinkai.net/>

Email [kodomonoie@chusinkai.jp](mailto:kodomonoie@chusinkai.jp)

発行責任：所長 下鳥 善男



「真心に育つ」 創設者 常岡一郎 揮毫

※ カラー版はホームページをご覧ください。

## 「実りの秋」

所長 下鳥善男

10月29日に、毎年恒例の秋祭りが、開催されました。今年は、台風の当たり年なのか、週末ごとに台風の予報が出ていました。祭り当日もご他分に漏れず台風直撃の予想。4、5日前から、台風の動向に一喜一憂しながらの当日開催となりました。出店のレイアウトも雨用に変更したため、動きづらく、不備なども多くあり、お手伝いをしてくれる方、お客様にも大変不自由な思いをさせてしまったかと思えます。しかし、年に一度の祭りということもあって、園の子ども達は、お店を手伝ったり出し物を披露したり、皆、楽しい1日が過ごせました。あいにくの雨にもかかわらず、地域の方、ボランティアの方、卒園生、その他大勢の方にお越しいただいて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

秋は、食欲、芸術、スポーツと何をするにしても良い季節です。実りの秋とも言われ、田んぼには稲穂が金色のじゅうたんの様に実り、収穫を待っています。そのような光景を見ると「実るほど、頭を垂れる稲穂かな」という言葉を思い出します。ひと言で言えば謙虚に生きることを示唆する言葉ですが、自分に置き換え、子どもの頃から、或いは若い頃から、自分が謙虚に生きていたのかと考えると、とても褒められたものではありませんでした。若輩者で周囲に迷惑を掛けたことすら気付かず、思い出せばきりが無いほど恥ずかしいことばかりです。社会人として働き始め、徐々に己の未熟さに気付き、成長させられました。園で生活している子ども達は、様々なものから守られて生活しているので、施設を出て自立してから苦労することも多く、「ひとりで生きていくのは大変だ」と卒園後に実感して話してくれる卒園生も多くいます。園にいる子ども達は、未だ青い稲穂のような存在ですが、様々な失敗や出会いを重ねて、各々の人生の中で「実るほど、頭を垂れる稲穂かな」の意味が理解できる人になってほしいと思います。

職員一人ひとりも、謙虚に、周囲の皆様に支えられて仕事ができることの感謝を忘れずに、子ども達にとっての「実り」が多くある秋であることを信じて日々の仕事に邁進していきたいと思えます。

あ  
き  
ま  
つ  
り

10月29日(日)に中心子どもの家秋祭りがおこなわれました。台風が接近しており、当日はあいにくの雨。数年ぶりに雨天対応での実施となりました。

お足元の悪い中でしたが、143名の方にお越しいただき、地域の方や、関係機関の方の手厚いご支援のおかげで無事に終えることができました。



秋祭りは子ども達も主体的に参加し、職員とともに準備から片付けまでおこなっています。外ブースの模擬店もありましたが、寒い中店番を頑張っていました。

今年は積極的に歩き売りをする子ども達の姿も見られました。



また、恒例となっている中心バザーは、総額65,470円の売り上げがありました。バザー品を提供してくださった多くの皆様のおかげで、今年も大盛況でした。

バザーの売り上げは、全て子ども達の私立高校等の進学資金(「情熱のピラミッド基金」)として活用させていただきます。



次回行事予定!

おもちつきの開催



12月10日(日) 時からおもちつきを開催いたします。一年間の感謝を込めて、つきたてのおもちを無料配布させていただきます。ぜひ、おもちをつく体験もして下さい！  
たくさんの皆様のお越しをおまちしています。

2017年度



夜の静けさに「火の用心」の音が響き渡る季節が近づいてきました。

中心子どもの家では、毎月避難訓練をおこなっています。10月14日には、年に一度の総合防災訓練をおこないました。今年の総合防災訓練は、①防災倉庫の備品確認、②通報・避難訓練、③消化活動訓練をおこないました。

消火活動訓練では、消防士の方に消火器の使い方を教えていただき、子ども達も実践しました。的当てのようで、子ども達も楽しんでできました。

また、総合防災訓練に合わせて、この日の昼食は避難食を食べました。避難食のためお湯を入れるだけで作れるもので、みんなで作りながら楽しく食べました。





# ハロウィン



秋といえば、子ども達が楽しみにしている行事の一つ、「ハロウィン」があります。毎年、米軍の方がハロウィンパーティーに招待して下さいます。11月1日、子ども11名と職員3名で参加しました。子ども達は、手の込んだ演出に「こわーい」と笑顔で大騒ぎしながら、たくさんのお菓子をもらいました。

## 今年のハロウィンは一味違う！？

ハロウィンの時期に合わせ、今年はハロウィン仮装用の衣装のご寄付をいただきました。

子ども達は前日から熱心に衣装を選び、当日はすっかり変身し大喜び。可愛い妖精やお姫様、大人気の魔法使いやカッコいい警察官になりきって、パーティーを存分に楽しんで帰ってきました。楽しい一日が終わってしまうのが名残惜しく、その日の夜はなかなか寝付けない子ども達でした。

カップケーキ、あま〜い！！

おばけやしきにはいりま〜す！



- いろいろたべた！おいしかった。
- でんしゃにのっていけたのしかった！！

## 玉大のおにいさん、おねえさんと玉大コスモス祭へ

ボランティアで毎月来てくださっている玉大赤十字奉仕団の学生さんと共に、玉川大学の文化祭に行きました。

玉川大学赤十字奉仕団の学生さんは、小学校低学年以下の児童一人一人に対し、担当制で個別の関わりをしてくださっています。通常は中心子どもの家に訪問されて遊んだり、手作りのお弁当を用意して一緒に食べたりしていただいています。年に2回、お出かけの行事を企画して下さいます。春には公園外出、そして秋には玉川大学の文化祭への外出があります。

今回子ども達は、それぞれの担当のおにいさん、おねえさんと共に、電車に乗って玉川大学まで行き、一緒に文化祭を見て回りました。模擬店で好きな食べ物や飲み物を買って、嬉しそうな表情を見せたり、大好きな電車でのお出かけにわくわく楽しそうにしたりしてました。



中心子どもの家・田名地区社協共催  
親子サロン「おもちゃぼこ」



中心子どもの家では、月1～2回程度、未就園児と保護者の方を対象に、親子サロンを開催しています。例年のプログラムに加え、今年度は新たな内容も予定しています。お気軽にご参加ください。

< 29年度 12～3月予定表 >

月	日	曜日	内 容
12	7	木	リズム
1	11	木	「おはなしワニーズ」(布おもちゃ) ※①おもちゃの病院
2	8	木	リズム
	28	水	「ゲーチョコキパー」(人形劇) ※②保健師さんが来ます
3	8	木	リズム ※①おもちゃの病院

※①おもちゃの病院とは

- ・おもちゃドクターが無料で治療(修理)をしてくれます。(部品代等有料の場合があります。)
- ・件数把握のため、事前にご連絡下さい。

※②保健師さんが来ますについて

- ・保健師さんへご心配ごとを相談できる日です。

## ボランティアさんによる園内環境整備



子ども達の生活環境には、生活する家だけでなく、建物そのものや、園庭も含まれます。そうした全体的な環境整備に、毎年、(有)広和様のボランティアの方々や、フィリップモリスジャパン合同会社様のボランティアの方々にご協力いただいています。

落ち葉が多いこの季節、フィリップモリスジャパン合同会社様のボランティアの方々が落ち葉掃きや、冬に向けて冷暖房設備のフィルター清掃をおこなっていただきました。

また、職員駐車場の整備を株式会社宏和商事様の方々がおこなっていただきました。

## ご寄附お礼

【平成29年9月1日～10月31日】

ザシティ相模大野店様、山岸敏子様、神奈川県養豚協会様、中国家庭料理山東様、齊藤奈央様、(株)城栄産業チャンピオン田名様、大野望様、武田大樹様、(有)中山商店代表取締役中山武様、コストコ多摩境店様、小泉博子様、一般財団法人共栄財団伊丹淳一様、日本農産工業(株)、宮尾典子様、佐藤貢一様、羽仁様、コンパル橋本様、相模友の会様、高橋久子様、三ヶ木郁様、松浦幸子様、高正奈穂美様、田所幸子様、(株)三光工芸社様代表取締役貝塚豊様、藤野知弘様、高橋契二様、NPO・JOYFUL様、株式会社ザシティ様、北島秀子様、関口まり子様、株式会社Zone様、川瀬朝子様、(有)広和様、相模原西ロータリークラブ様、重森美幸様